

私が代表を務めるリンクでは、  
①ミスの防止とカバー②セクシヨ  
ナリズムの発生回避③迅速な対応  
④「社内に秘密はないはず、あつ  
てはダメなはず」という理想の追  
求のために「オープン・フラッ  
ト&スピーディー」というコンセ  
プトに基づく職階とゾーンレイア  
ウトを実施している。

これについては前回書いた。今  
回はその続編。

失敗や悪い結果は、できるだけ  
言いたくない、知られたくないの  
がいつの世も変わらない人情。打  
ち合わせスペースにすら間仕切り  
がない当社のレイアウトの大前提  
はこれである。

多少にぎやかで困ることはある  
が、声・表情・雰囲気による状況  
把握、問題の可視化という意味に  
おいて効果は確実。スピードが要  
求されるインターネット時代、な  
かでも対応の迅速性がサービスの  
質に直結するホスティングサービ  
スにあっては、メリットがデメリ  
ットに勝る。

情報は見に行く、取りに行くも  
のであって、のんびりと報告を待  
つものに非ず。前後左右の出来事  
を公正に判断する必要性もある。  
社長室・役員室なんかにもつて  
いて、見るべき・聞くべき状況を  
把握することなんてできるんだろ  
うか、というわけである。

これは逆サイド、つまり社員に  
よる社長・役員の見聞という意味  
でも効果的だ。

世間を騒がすさまじな経済事  
件、業務事故を見てもわかるとお  
り、若い社員による1回の失敗で  
会社がつぶれることはめったにな  
い。対して社長や役員など意思決

## 社長・役員こそ見張られないと

定権者による事件・事故の打撃  
は、某銀行・某英会話学校を例に  
とるまでもなく壊滅的である。

構成員の共同生活基盤である会  
社の組織防衛という視点からは、  
意思決定権者こそ見張られていな  
いといけないのである。「オープ  
ン・フラット&スピーディー」の  
もう一つの効用はこれだ。

隠しきれることなどない

このごろは偽装偽装とかまびす  
しい。2007年には「偽」が  
「今年の漢字」にまでなった。が、  
官僚内閣制に代表されるこの「偽  
装ごまかし国家」において実はこ  
んなことは昔からあって、掲示板  
・ブログ・メールの浸透や終身雇  
用制の崩壊、マスコミの話題にし  
易さで噴出しただけのことではな  
いか(必要のない法律規則が作ら  
れ続けていることにもよるが)。

まったくもって、そんな気がす  
る今日このごろである。今の時代  
に、あんなことが隠せると思うこ  
と自体が不思議だ。このインタ  
ネット時代、そして、つぶれるま  
で、つぶすまで追いかけて回す地獄  
のテレビマスコミに対して「隠し  
きれることなどおよそない」とい  
うことを、企業人は肝に銘じるべ  
きであろう。

(リンク社長 岡田元治)

|| 木曜日に掲載



《おかだ・がんじ》1955年京都  
府生まれ。横浜の全寮制、山手学  
院中高を経て、早  
稲田大学商学部  
卒。翻訳・編集・  
広告制作に従事し  
たのち87年に広告  
制作でリンクを設  
立、社長に就任。96年富山市のエ  
ーティーワークスと共同でA T  
LINK専用サーバ・サービスを  
スタート。専用ホスティングとし  
て国内トップの台数を誇る。